



内山隼人議員
(Think globally,
Act locally!)



山を切り開く太陽光パネル設置事業を規制する条例を

問

地球環境とエネルギー問題は密接な関係にあり、地球環境を改善させていくには再生可能エネルギーのさらなる普及が必要である。太陽光発電は、発電のために巨大な施設を造る必要がなく、パネル1枚あれば一般庶民でも電気をつくり出せる身近な発電方法である一方、急速に普及・拡大したことで規制や法整備が追いついておらず、よくない事例を聞くこともある。その一つが、山を切り開いた大規模なメガソーラーの建設である。

環境負荷低減のためであるはずが、森を切り開くなどの環境破壊をしており各地で問題になっている。脱炭素先行地域の匝瑳市だからこそ山を切り開く太陽光パネル設置事業を規制する条例が必要であると考え。見解は。

答

「市長」山地を切り開くなどして太陽光発電設備を導入する場合、匝瑳市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例により、土地の埋立て等を行う事業主は土砂が崩落しないように必要な措置を講じなければならぬ。

千葉県林地開発行為等の適正化に

コロナワクチンと死亡数の関係は？

問

日本の死亡数は令和2年に減少、令和3年から急激に増加しており、例年より多く亡くなっている超過死亡数は令和3～5年の3年間で累計45万人以上である。コロナ感染による死亡数が累計10万人なので、コロナ以外の死因で35万人以上の人が多く亡くなっている。

コロナワクチンによる副反応報告の多さや、免疫不全、免疫力低下などの報告も出ていることから、死亡数の増加とワクチンが関係しているのではないかと、言われている。匝瑳市の死亡数も同じ傾向にあるか。

答

「健康管理課長」本市での死亡者数は、平成30年564人、令和元年561人、令和2年557人、令和3年561人、令和4年590人、令和5年597人。ワクチンとの因果関係は不明。



排水機場について

問

豪雨時など、水害が予想されるときにおける排水機場等の運転は、どのような基準と人員体制で行われているか伺う。

答

「野栄総合支所長」運転判断については、大雨等により排水機場内の排水路の水位が1メートルを超えた場合に運転を行う。人員体制については、野栄総合支所職員のうち、野田排水機場に3名、新堀川排水機場に3名を配置し運転業務を行っている。

シニアクラブについて

問

市はシニアクラブとどのように関わり、連携を行っているか伺う。

答

「市長」高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の業務を委託しているほか、多岐にわたる会議に参画し、貴重な御意見をいただいている。新規加入者の増加や若い世代の加入促進に向けた支援を行うとともに、シニアクラブの周知や魅力ある活動を増やすための提案を行っている。まいりたい。

問

シニアクラブが、いきいき百歳



伊東一成議員
(匝風)



体操を実施した場合に補助金を上乘せしてはいいかがか。

答

「高齢者支援課長」現在、近隣市町等で、そういったインセンティブを付与している自治体はないと伺っているが、今後、他自治体の状況を注視しながら調査・研究を行っている。まいりたい。

地域福祉計画について

問

策定中の次期地域福祉計画及び地域福祉活動計画について、現状の方針としてどのような改正を予定しているか伺う。

答

「市長」これまでの計画と異なる内容としては、成年後見制度利用促進計画と再犯防止推進計画についても併せて一体的な策定を予定している。

狂犬病予防について

問

狂犬病予防注射の接種状況について伺う。

答

「環境生活課長」令和5年度における接種頭数は1,263頭で、割合は60・8%。接種率は減少している状況。

問

狂犬病予防注射を接種しなかった場合に罰則はあるのか伺う。

答

「環境生活課長」飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせなかった者に対して20万円以下の罰金が科される場合がある。